2026年11月12日

各　位

会　社　名　株　式　会　社　Ｅ　ｄ　ｕ　Ｌ　ａ　ｂ
代 表 者 名　代　表　取　締　役　社　長　川瀬　晴夫
（コード番号：4427　東証グロース）
問 合 せ 先　執行役員CFO経営管理本部長　向 山　　陽
（TEL.03-6897-3733）

通期連結業績予想と実績の差異及び個別業績の前期実績との差異並びに営業外費用、特別利益及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2025年11月13日に公表いたしました2026年９月期（2025年10月１日～2026年９月30日）の通期連結業績予想と本日公表の実績との間に差異が生じましたので、お知らせいたします。また、2026年９月期の個別業績について前期実績との間に差異が生じたこと、及び2026年９月期において営業外費用、特別利益及び特別損失を計上いたしましたので、併せて下記のとおりお知らせいたします。

記

１．2026年９月期連結業績予想数値との差異　（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 5,800	百万円 80	百万円 20	百万円 10	円 銭 0.98
今回発表実績（B）	5,806	198	94	△381	△37.33
増減額（B-A）	6	118	74	△391	
増減率（％）	0.1%	147.8%	371.5%	－	
（ご参考）前年実績（2025年９月期）	6,229	391	450	16	1.61

２．2026年９月期個別業績と前期実績との差異　（単位：百万円、％）

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	１株当たり当期純利益
前 期 実 績 （ Ａ ）（２０２５ 年 ９ 月 期）	889	△41	45	134	13円20銭
当 期 実 績 （ Ｂ ）（２０２６ 年 ９ 月 期）	763	15	3	△126	△12円42銭
増 減 額（Ｂ－Ａ）	△126	56	△41	△261	
増 減 率（　％　）	△14.1%	－	△92.1%	－	

３．差異の理由

（１）連結業績

売上高は、テスト運営・受託事業において一部公共案件の減少及び前連結会計年度に単年度受注した一部案件の剥落があったものの、テストセンター事業においてテストセンター利用者数が大幅に伸長し増収となったことにより、前回発表予想（5,800 百万円）どおりの 5,806 百万円となりました。

利益面では、テストセンター事業の増収に加え、運営体制・業務の最適化によりセグメント利益が 501 百万円（前期比 72.5%増）と大幅に増加したこと、売上総利益が前回発表予想を 153 百万円上回ったこと、及び販売費及び一般管理費が前回発表予想を 114 百万円下回ったことから、営業利益は 198 百万円（前回発表予想比 147.8%増）となりました。経常利益は、投資有価証券評価損 55 百万円、投資事業組合管理費 37 百万円、為替差損 21 百万円等の営業外費用 131 百万円を計上したものの、94 百万円（同 371.5%増）となり、営業利益及び経常利益は前回発表予想を上回りました。

一方、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、弁護士費用に係る受取保険金 167 百万円を特別利益に計上したものの、将来に損失を繰り延べないためのソフトウエアの減損損失 280 百万円、特別退職金 54 百万円等の特別損失 341 百万円、法人税等 176 百万円及び非支配株主に帰属する当期純利益 125 百万円を計上したことにより、381 百万円の親会社株主に帰属する当期純損失（前回発表予想は 10 百万円の利益）となりました。

（２）個別業績

売上高は、外部顧客向けの売上高が前期の 446 百万円から 148 百万円に減少したこと（関係会社向け売上高は 443 百万円から 615 百万円に増加）により、前期比 126 百万円減少の 763 百万円となりました。

営業利益は、売上原価が前期の 222 百万円から 53 百万円に減少したこと等により、15 百万円（前期は 41 百万円の営業損失）となりました。経常利益は、前期に計上した為替差益 44 百万円等の営業外収益が減少したことにより、3 百万円（前期比 92.1%減）となりました。

当期純利益につきましては、清算結了した連結子会社からの受取配当金 316 百万円及び受取保険金 167 百万円を特別利益に計上したものの、連結子会社に対する債権放棄損 600 百万円等の特別損失 605 百万円を計上したことにより、126 百万円の当期純損失（前期は 134 百万円の当期純利益）となりました。

４．営業外費用、特別利益及び特別損失の計上

当社は、2026 年９月期において、以下のとおり、営業外費用、特別利益及び特別損失を計上しましたので、お知らせいたします。

(連結)

（１）営業外費用（投資有価証券評価損）の内容

当社の米国連結子会社である EduLab Capital Partners I, L.P.が保有する投資有価証券のうち、実質価額が著しく下落した銘柄について減損処理を行いました。2026 年９月期第３四半期連結累計期間（2025 年 10 月１日～2026 年６月 30 日）において７百万円を計上しておりましたが、第４四半期連結会計期間（2026 年７月１日～2026 年９月 30 日）に 47 百万円を追加計上したことにより、2026 年９月期において、投資有価証券評価損 55 百万円を営業外費用として計上いたしました。

（２）営業外費用（投資事業組合管理費）の内容

当社の米国連結子会社が運営する投資ファンドの管理費として、2026 年９月期において、投資事業組合管理費 37 百万円を営業外費用として計上いたしました。

（３）営業外費用（為替差損）の内容

外国為替相場の変動に伴い、2026 年９月期において、為替差損 21 百万円を営業外費用として計上いたしました（2026 年９月期第３四半期連結累計期間は 26 百万円）。これは主として、当社及び連結子会社が保有する外貨

建資産・負債を期末日の為替レートで評価替えしたことにより発生したものであります。

（４）特別利益（受取保険金）の内容

当社が被告となっている損害賠償請求訴訟（証券訴訟）に係る弁護士費用等について、会社役員賠償責任保険（D&O 保険）等から保険金を受領したことにより、2026 年９月期において、受取保険金 167 百万円を特別利益として計上いたしました。なお、2026 年９月期第３四半期連結累計期間においては、当該保険金 107 百万円を営業外収益に計上しておりましたが、金額的重要性が増したことから、第４四半期連結会計期間において特別利益に表示区分を変更しております。

（５）特別損失（減損損失）の内容

将来に損失を繰り延べないため、連結子会社である株式会社教育測定研究所が保有するソフトウエアのうち、収益性の低下により投資額の回収が見込めなくなった資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、2026 年９月期において、減損損失 280 百万円を特別損失として計上いたしました。セグメント別の内訳は、AI 事業 245 百万円、テスト運営・受託事業 25 百万円、テスト等ライセンス事業９百万円であります。

（６）特別損失（特別退職金）の内容

当社の米国連結子会社における退職者への特別退職金 46 百万円等により、2026 年９月期において、特別退職金 54 百万円を特別損失として計上いたしました。

(個別)

（１）特別利益（受取配当金）の内容

2026 年２月に清算結了した当社連結子会社 Edutech Lab AP Private Limited から、清算に伴う配当金を受領したことにより、2026 年９月期において、受取配当金 316 百万円を特別利益として計上いたしました。なお、当該受取配当金は連結決算上消去されるため、連結業績への影響はありません。

（２）特別利益（受取保険金）の内容

上記（連結）（４）に記載のとおり、受取保険金 167 百万円を特別利益として計上いたしました。

（３）特別損失（債権放棄損）の内容

連結子会社である株式会社教育測定研究所の財務体質の改善を図るため、同社に対する債権の一部を放棄したことにより、2026 年９月期において、債権放棄損 600 百万円を特別損失として計上いたしました。なお、当該損失は連結決算上消去されるため、連結業績への影響はありません。

５．業績に与える影響

上記の営業外費用、特別利益及び特別損失は、本日公表の「2026 年９月期　決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。

以　上